

“終始一貫、あふれる音楽性” (サンデータイムズ紙)

J.S.バッハ (平井元喜編) : オルガン協奏曲 二短調 BWV596 (原曲: ヴィヴァルディ)

J.S. Bach (arr. Motoki Hirai): Organ Concerto in D minor, BWV596 after Vivaldi

平井元喜: 童話絵本のための組曲 (2007/2014) [ピアノソロ版 / 世界初演]

Motoki Hirai: Picture Books Suite (2007/2014) [Concert version / World premiere]

平井元喜: Grace and Hope <祈り、そして希望> (2011)

Motoki Hirai: Grace & Hope - Dedicated to the victims and survivors of the earthquake and tsunami (2011)

チャイコフスキー: ドムカハ 短調 ~ ロシアの農村風景 ~ 作品59

Tchaikovsky: Dumka - Scene in a Village, Op.59

平井元喜: グリーグへのオマージュ (1987/2007)

Motoki Hirai: Homage to Grieg (1987/2007)

平井元喜: Improvisation on EDvArD GriEG (2014) [日本初演]

Motoki Hirai: Improvisation on EDvArD GriEG (2014) [Japan premiere]

グリーグ: 詩的な音の絵 作品3

ノルウェー舞曲集 作品35

アルバム綴り 作品28

ペール・ギュント組曲 作品46

叙情小曲集 より

Grieg: Selections (12 pieces) from Poetic Tone Pictures, Op.3 Norwegian Dances, Op.35 Album Leaves, Op.28 Peer Gynt Suite No.1, Op.46 Lyric Pieces

平井 元喜 ピアノリサイタル

Motoki Hirai Piano Recital

2014年5月30日(金) 7:00pm開演 王子ホール (銀座三越裏)

Friday, 30 May, 2014 7:00pm Oji Hall, Ginza, Tokyo

全席指定: ¥5,000

後援: 駐日ノルウェー大使館

コンサートマネジメント: ミリオンコンサート協会 03-3501-5638

王子ホールチケットセンター 03-3567-9990

チケットぴあ 0570-02-9999 Pコード228-551

イープラス <http://eplus.jp/>

東京文化会館チケットサービス 03-5685-0650

CNプレイガイド 0570-08-9990



“比類なき音楽性…繊細なタッチ、多彩な音色を備えたダイナミックな演奏” [ガーディアン紙]より

“作曲家の意図を的確にとらえ、同時に作品の本質を見抜いていた” [サンデータイムズ紙]より

“平井元喜の演奏は洗練されたものであり、聴衆に強い印象を与えた。それはあたかも、私たちの時代における最高の音楽への扉を少しずつ開いていくような格調高い演奏であった。” [エルムンド紙]より



PROFILE — Motoki Hirai

ピアニスト・作曲家。1973年、チェリスト平井丈一朗の次男として東京に生まれる。祖父で作曲家・平井康三郎にピアノと作曲を、祖母にヴァイオリンを学ぶ。桐朋高校を経て、慶應義塾大学文学部哲学科卒。99年、英王立音楽院大学院ピアノ科卒。同年、「サー・ジャック・ライオンズ音楽賞」受賞。これまでヨーロッパ、アフリカ、中近東、アジア、アメリカ各地を演奏旅行。05年、「日・EU市民交流年」親善アーティスト。07年デンマーク王室のご来臨を得てコペンハーゲンでリサイタル。09～12年、スメタナホール(プラハ)、モーツァルトホール(ブルノ)でチェコ・ヴィルトゥオーゾ室内管弦楽団と協演するなど欧州各地をツアー。

2011年、カーネギーホール(ニューヨーク)でデビュー・リサイタルを行い絶賛される。ロンドンでは、“室内楽の殿堂”ウィグモアホールやカドガンホールでしばしばリサイタルを開催。日本では紀尾井ホール、浜離宮朝日ホール、津田ホール、東京文化会館、銀座シヤネル・ネクススホール、ラ・フォル・ジュルネ音楽祭などで演奏する。2014年以降は、カーネギーホール(NY)に再登場するほか、コンセルト・ヘボウ(アムステルダム)、クイーン・エリザベス・ホール(ロンドン)など欧米各地でリサイタル、オーケストラと協演、フェスティバル出演などを予定している。

作曲家としては、ピアノ曲、室内楽曲から映画音楽まで幅広く手がけ、その作品はカーネギーホール(NY)、サウスバンク・センター、ウィグモアホール、セント・ジョンズ・スミス・スクエア、ドリッジ・フェスティバル、ユニコーン・シアター、チェルシー・フラワー・ショー(以上ロンドン)、カザルス音楽堂(バルセロナ)、バリ日本文化会館(バリ)、カルチュラル・サマー・フェスティバル(ブラチスラヴァ)、カメラ劇場、ハイファ美術館(以上イスラエル)、アルカサマ劇場(パレスチナ)、NHKホール、東京オペラシティ(以上東京)など内外各地で演奏されている。

室内楽奏者としても活躍し、ヴィルニウス弦楽四重奏団、マイケル・コックス、バリー・クラフト、カールマン・ベルケシュら世界的アーティストとの共演は、あしなご育英会(津波遺児支援)などを通じて各種チャリティ・コンサートを行う。3.11以来、スタインウェイ社らの協力を得て各国で20数回に渡り震災復興支援チャリティ・コンサート及び被災地での慰問コンサートを行い、現在も継続中。これまでに1,000万円を超える支援金を被災地へ届ける。2011年秋、新作「Grace & Hope ~祈り、そして希望~」をウィグモアホール(ロンドン)及び被災地(宮城県)で初演。

音楽を通じて平和・環境・医療・教育問題にも積極的に取り組んでおり、国連(UNESCO, UNICEF)、赤十字社、王室マースデン・がんチャリティ、あしなご育英会(津波遺児支援)などを通じて各種チャリティ・コンサートを行う。3.11以来、スタインウェイ社らの協力を得て各国で20数回に渡り震災復興支援チャリティ・コンサート及び被災地での慰問コンサートを行い、現在も継続中。これまでに1,000万円を超える支援金を被災地へ届ける。2011年秋、新作「Grace & Hope ~祈り、そして希望~」をウィグモアホール(ロンドン)及び被災地(宮城県)で初演。

94年より外務省および国際交流基金の派遣により芸術使節として10数カ国で公演。これまでBBCをはじめ世界各地でテレビ・ラジオに出演し好評を博す。日本ではNHK「名曲リサイタル」、テレビ朝日「題名のない音楽会」等に出演。05年よりNHK文化センターにて「ピアノ名曲サロン」と題して演奏をまじえた教養講座を持つ。ピアノソロ・室内楽などCD録音も多数。現在、イギリスを拠点に欧米各地で活躍し、その類いまれな音楽性と詩的センスは世代を超えて共感を得ている。

www.motoki-hirai.com